

事例22 高齢受給者(70歳以上)入院外(一般所得)・公費(特定疾患)
(S19.4.1までに生まれた方)

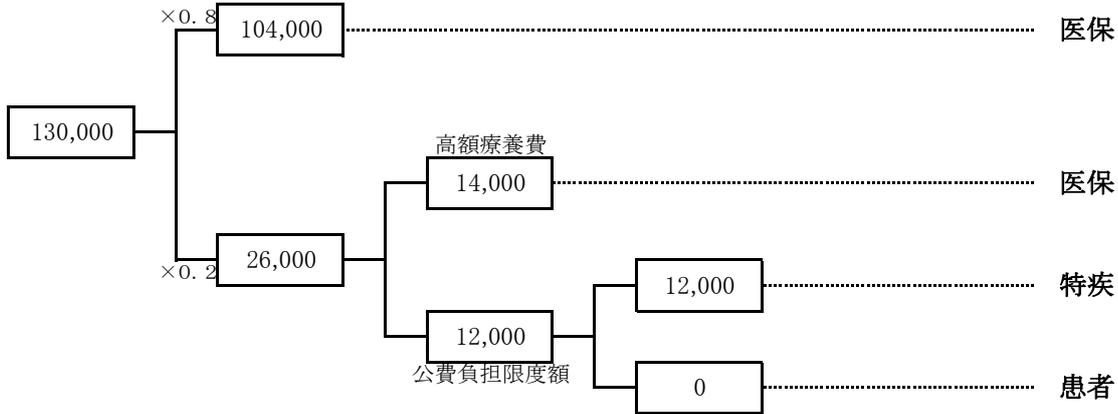
国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	3 3 併	8 高齢一
-										保険者番号			
公費負担者番号①	5	1						公費負担医療の 支給者番号①					
公費負担者番号②	8	0						公費負担医療の 支給者番号②					
氏名									特記				
職務上の事由									18 一般	←51公費の適用所得区分を記載する			
合 計	請求 円	※ 決 定 円						負担金額 円	※高額療養費 円				
	130,000							12,000					
	公費①							空欄	※公費負担金額 円 備考				
	130,000							0	※公費負担金額 円				

※ 医療費の1割が高額療養費算定基準額を超える場合

【療養の給付】 →高額療養費が発生しているため、「保険」の「負担金額」欄に支払を受けた一部負担金額(現物高額適用後の患者窓口負担額)を記載

→「公費①」の51(特定疾患)の「請求」欄は、この事例では51対象部分(26,000)で点数が生じていないので、空欄、「負担金額」欄は当該患者に係る月額限度額または、公費対象医療費の2割のいずれか低い額を記載(0円の場合は、空欄とする)



〈保険〉70歳以上 国保 定率2割

〈高齢受給者証〉 定率2割(75歳到達まで特例措置1割)

〈公費①〉特定疾患(所得区分:一般) 月額自己負担限度額=0円

〈公費②〉単県80 定率1割 一般(一部負担上限額 12,000円)

合計	
医保	118,000 円
(高額再掲	14,000 円)
特定疾患	12,000 円
患者	0 円
単県80	0 円
患者(最終)	0 円

高額療養費
(130,000円×0.2) - 12,000円=14,000円

0 単県80
0 患者(最終)

→単県80の給付なし

- (ただし、単県80の受給者証の提示があった場合、レセプトに記載)

※なお、S19.4.2以降に生まれた方についてのレセプトの記載例も上記と同様である。